

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		臨床工学技士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名		臨床医学総論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	402
担 当 教 員		杉 山 章 大 谷 順	実務経験とその関連資格	杉山章:出雲市総合医療センター病院事業管理者 大谷順:雲南市立病院 病院事業管理者			
《授業科目における学習内容》							
循環器・消化器・代謝・内分泌関連疾患の病態、治療法、予後などを総合的に学ぶ							
《成績評価の方法と基準》							
定期試験							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
臨床工学技士標準テキスト 第4版							
《授業外における学習方法》							
予習・復習を行い各単限の理解度を上げておく							
《履修に当たっての留意点》							
わからないことをそのままにせず、各単限は必ず理解しておく							
授業の方法			内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講義 演習 形式	授業を通じての 到達目標	診断や治療方針などを理解し説明できる		臨床工学技士標準 テキスト	特になし	
		各コマにおける 授業予定	外科学概論 診断・治療 (外部講師)				
第 2 回	講義 演習 形式	授業を通じての 到達目標	手術の基本手技などを理解し説明できる		臨床工学技士標準 テキスト	前回の復習と次の単限 の予習をしておく	
		各コマにおける 授業予定	外科学概論 手術・基本手技 (外部講師)				
第 3 回	講義 演習 形式	授業を通じての 到達目標	麻酔などの周術期管理を理解し説明できる		臨床工学技士標準 テキスト	前回の復習と次の単限 の予習をしておく	
		各コマにおける 授業予定	外科学概論 周術期管理「麻酔 輸血」 (外部講師)				
第 4 回	講義 演習 形式	授業を通じての 到達目標	術後合併症について理解し説明できる		臨床工学技士標準 テキスト	前回の復習と次の単限 の予習をしておく	
		各コマにおける 授業予定	外科学概論 術後合併症 (外部講師)				
第 5 回	講義 演習 形式	授業を通じての 到達目標	外傷について理解し説明できる		臨床工学技士標準 テキスト	前回の復習と次の単限 の予習をしておく	
		各コマにおける 授業予定	外科学概論 外傷 (外部講師)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	移植について理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト	前回の復習と次の単限の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	外科学概論 移植（外部講師）		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	輸液コントロールを理解し治療方法などを説明できる	臨床工学技士標準テキスト	前回の復習と次の単限の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	輸液コントロールについて		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	降圧剤について理解し治療方法を説明できる	臨床工学技士標準テキスト	前回の復習と次の単限の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	降圧剤について		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			